

第6学年「音楽」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果**
- 歌詞の意味を考え、曲想を生かして歌うことに意欲をもって取り組む。
 - 打楽器や木琴・鉄琴等の演奏に興味をもって取り組み、楽しく合奏している。
- 課題**
- ▼ 響きのある声ではっきりと歌詞の発音をして歌う技能。
 - ▼ 正確な拍感とリズム感で、伴奏や全体の音を聴いて音を合わせる技能。
 - ▼ 調和のとれた美しい二部合唱

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 響きのある声ではっきりと歌詞の発音をして歌う技能。
- ◇ 正確な拍感とリズム感で、伴奏や全体の音を聴いて音を合わせる技能。
- ◇ 二部合唱のハーモニーの感覚を養う。

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 目標をもって取り組めるように、手本や見本を示して、目標を明確にする。
- グループ活動や児童同士の教え合いが効果的に機能するようにする。

言語活動の工夫

- 表現活動では、どのように歌い、演奏したいのか等、自分なりの思いをもてるようにする。
- 鑑賞活動では、【共通事項】を基に感想を書いたり友達と意見の交流をしたりする。

ICT活用の工夫

- 鑑賞では、映像を見せて楽器の種類や演奏の様子がわかるようにする。
- パソコンを使って友達のことを見たり意見交換をしたりする。

課題解決力育成の工夫

- 音楽の要素やその特徴を捉え、歌い方や演奏の仕方を工夫する。
- 曲や演奏の楽しさを見い出しながら音楽を味わって聴けるように。

達成目標

- 音楽のよさや楽しさを感じ、自分の思いや意図をもって音楽表現できるようにする。
- 丁寧でやわらかい発声とハーモニー感覚を養い、美しい二部合唱ができるようにする。